



2020年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月6日

上場会社名 株式会社 パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス

上場取引所 東

コード番号 7532 URL <https://ppi-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 (氏名) 高橋 光夫

TEL 03-5725-7588

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・金融機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年6月期第1四半期の連結業績(2019年7月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	428,736	71.4	21,132	45.7	20,449	14.1	12,604	8.2
2019年6月期第1四半期	250,080	11.9	14,503	1.4	17,917	25.3	11,646	37.6

(注) 包括利益 2020年6月期第1四半期 11,995百万円 (12.0%) 2019年6月期第1四半期 13,637百万円 (38.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	19.90	19.84
2019年6月期第1四半期	18.40	18.36

当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第1四半期	1,267,021	360,801	26.6
2019年6月期	1,278,567	353,487	25.8

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 336,804百万円 2019年6月期 329,546百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期		10.00		30.00	40.00
2020年6月期					
2020年6月期(予想)		2.50		8.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2019年6月期の第2四半期末配当金の内訳 普通配当5円00銭 記念配当5円00銭

当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2019年6月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	840,000	63.6	36,000	19.9	36,000	1.9	21,800	7.7	34.41
通期	1,660,000	24.9	68,000	7.7	68,000	0.4	45,000	6.7	71.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2020年6月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期1Q	633,526,640 株	2019年6月期	633,287,040 株
期末自己株式数	2020年6月期1Q	18,924 株	2019年6月期	18,720 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期1Q	633,313,339 株	2019年6月期1Q	632,754,108 株

当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2019年11月6日(水)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容(映像)については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年7月1日~2019年9月30日)におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調で推移していますが、海外経済の先行きや通商問題を巡る緊張が高まり、不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、天候不順の影響や2019年10月から実施される消費税率の引き上げを控えて、競合他社との販売競争が激化しており、消費者の節約志向や選別消費の傾向が一層強く表れております。

当社グループは、引き続き競合他社との差別化要因である現場主義・個店主義に立脚した強みを遺憾なく発揮して、積極的な営業戦略に基づく「攻めの経営」を推進しました。

株式会社ドン・キホーテにおいては、2019年8月に北海道・新千歳空港内に新たに増築された国際線ターミナル3階にインバウンド需要対応型店舗の「ソラドンキ新千歳空港店」を、2019年9月に地域密着型エンターテイメント店舗の「ドン・キホーテ栃木平柳店」及び徳島県内初出店であり、フードコート併設した大型店舗の「MEGAドン・キホーテ徳島店」の3店舗を新規に開店しました。

UDリテール株式会社においては、ドン・キホーテが持つ時間消費型の店舗作りとユニーのノウハウが有機的に結合するダブルネーム業態転換店6店舗を開店しました。

海外事業につきましては、シンガポール共和国において、スーパーマーケット型の食品強化店である「DON DON DONKI スクウェア2店」を新規に開店しました。

また、消費税増税前の2019年9月14日から30日までの期間限定で、全国のドン・キホーテ系列店舗(一部店舗を除く)において、現金・キャッシュレスなどの決済手段に関わらず、お会計金額(本体価格)より8%の値引き(一部商品を除く)をする一大キャンペーンを行いました。

当第1四半期連結累計期間の店舗の状況につきましては、関東地方に1店舗(栃木県—ドン・キホーテ栃木平柳店)、北海道に1店舗(北海道—ソラドンキ新千歳空港店)、四国地方に1店舗(徳島県—MEGA徳島店)と合計3店舗を開店しました。

その一方で、事業効率改善のためピアゴ穂積店を閉店しました。

この結果、2019年9月末時点における当社グループの総店舗数は、696店舗(2019年6月末時点 693店舗)となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、

売上高	4,287億36百万円	(前年同期比	71.4%増)
営業利益	211億32百万円	(前年同期比	45.7%増)
経常利益	204億49百万円	(前年同期比	14.1%増)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	126億4百万円	(前年同期比	8.2%増)

となり、第1四半期連結累計期間における過去最高益を更新しました。

セグメントの業績については、次の通りです。なお、前第3四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① ディスカウントストア事業における売上高は2,815億99百万円(前年同期比14.9%増)、営業利益は149億63百万円(同5.5%増)となりました。当社グループにおける主力業態ドン・キホーテは、冷夏・猛暑といった天候不順と韓国からの訪日客数が急減といった影響がありましたが、食品を中心とする生活必需品が堅調な販売実績となり、また、消費税増税前の駆け込み需要を獲得したことにより、既存店売上高成長率は2.9%増となりました。

また、ファミリー向け業態のMEGAドン・キホーテは、地域密着型の商品構成や価格設定、サービス対応などがお客さま支持の拡大に繋がって、食品や日用消耗品などの販売高が好調に推移し、既存店売上高成長率は2.7%増となりました。

② 総合スーパー事業における売上高は1,281億53百万円、営業利益は28億64百万円となりました。ダブルネーム店に業態転換する店舗があることから総店舗数は減少していますが、衣料品及び住居関連品が好調に推移した結果、既存店売上高成長率は0.1%増となりました。

③ テナント賃貸事業における売上高は151億72百万円(前年同期比220.7%増)、営業利益は31億59百万円(同305.5%増)となりました。

ディスカウントストア事業の店舗数増加に加えて、ユニー株式会社が新たに連結子会社となったことから、テナント賃貸事業に係る対象件数の増加や稼働状況が改善し、好調な業績で推移しました。

④ その他事業における売上高は38億12百万円(前年同期は3億2百万円)、営業利益は12百万円(前年同期は営業損失4億59百万円)となりました。

※売上高の増減率は、1,000%以上のため記載しておりません。

当社グループの不変の企業原理である「顧客最優先主義」を基軸とした「業態創造企業」として、当社グループの差別化要因である、Convenience（便利さ）、Discount（価格の安さ）、Amusement（楽しさ）という3つの要素をさらに強化し、お客さまに支持していただける店舗作り実現のため、さまざまな営業施策を実行し、中長期的に持続可能な成長を実現してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円未満四捨五入)

	2019年6月前期末	2019年9月当四半期末	増減額
資産合計	1,278,567	1,267,021	△11,546
負債合計	925,080	906,220	△18,860
純資産合計	353,487	360,801	7,314

1. 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末（2019年9月30日）における財政状態において、総資産は前連結会計年度末（2019年6月30日）と比較し、115億46百万円減少して、1兆2,670億21百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が40億91百万円、割賦売掛金が59億28百万円増加した一方で、現金及び預金が119億31百万円、商品及び製品が65億71百万円、預け金が53億53百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末と比較し、188億60百万円減少して、9,062億20百万円となりました。これは主として、未払金が20億3百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が102億91百万円、未払費用が28億36百万円、社債が11億8百万円、借入金が100億81百万円、債権流動化に伴う支払債務が18億16百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末と比較し、73億14百万円増加して、3,608億1百万円となりました。

2. キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により得られた資金は、純利益の計上、減価償却費の計上及びたな卸資産の減少といった増加要因があった一方、売上債権の増加、仕入債務の減少、割賦売掛金の増加及び法人税等の支払額といった減少要因により、108億79百万円（前年同期比37億24百万円減）となりました。

投資活動により使用した資金は、有形固定資産の取得による支出及び無形固定資産の取得による支出等により、99億9百万円（前年同期比47億14百万円減）となりました。

また、財務活動により使用した資金は、長期借入金の返済による支出及び配当金の支払いといった減少要因により、176億82百万円（前年同期は495億91百万円の収入）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、1,679億2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、積極的な営業戦略による売上高の増加等により、業績が想定を上回って推移していることから、2019年8月13日付の「2019年6月期 決算短信」で公表しました2020年6月期の第2四半期連結累計期間の連結業績予想及び通期の連結業績予想について下記の通り修正します。

2020年6月期 第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正 (2019年7月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	830,000	34,000	34,000	21,000	33 16
今回修正予想 (B)	840,000	36,000	36,000	21,800	34 41
増減額 (B - A)	10,000	2,000	2,000	800	—
増減率 (%)	1.2	5.9	5.9	3.8	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年6月期第2四半期)	513,416	30,017	35,330	23,616	37 32

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2020年6月期 通期連結業績予想数値の修正 (2019年7月1日～2020年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,650,000	66,000	66,000	45,000	71 06
今回修正予想 (B)	1,660,000	68,000	68,000	45,000	71 03
増減額 (B - A)	10,000	2,000	2,000	—	—
増減率 (%)	0.6	3.0	3.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (2019年6月期)	1,328,874	63,110	68,240	48,253	76 23

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

当社グループが事業を遂行している限り、様々なリスクや不確実性が伴います。そのため、実際の業績に影響を与える重要な要因として、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	172,673	160,742
受取手形及び売掛金	18,744	22,835
割賦売掛金	67,417	73,345
営業貸付金	8,966	8,922
商品及び製品	188,510	181,939
前払費用	7,036	6,782
預け金	12,986	7,633
その他	20,790	21,869
貸倒引当金	△717	△801
流動資産合計	496,405	483,266
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	262,955	262,744
工具、器具及び備品(純額)	25,471	26,100
土地	315,047	314,750
その他(純額)	7,407	7,625
有形固定資産合計	610,880	611,219
無形固定資産		
のれん	17,216	16,551
その他	20,386	20,883
無形固定資産合計	37,602	37,434
投資その他の資産		
投資有価証券	16,681	17,148
長期貸付金	2,962	2,889
長期前払費用	6,105	6,122
退職給付に係る資産	6,362	6,679
繰延税金資産	19,668	20,451
敷金及び保証金	80,443	80,414
その他	3,965	3,883
貸倒引当金	△2,506	△2,484
投資その他の資産合計	133,680	135,102
固定資産合計	782,162	783,755
資産合計	1,278,567	1,267,021

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	159,064	148,773
短期借入金	123	123
1年内返済予定の長期借入金	19,721	14,839
1年内償還予定の社債	22,816	22,916
債権流動化に伴う支払債務	7,304	7,332
未払金	49,580	51,583
未払費用	22,684	19,848
預り金	19,407	20,247
未払法人税等	9,841	10,591
ポイント引当金	5,227	5,938
その他	22,218	24,329
流動負債合計	337,985	326,519
固定負債		
社債	238,458	237,250
長期借入金	256,777	251,578
債権流動化に伴う長期支払債務	4,703	2,859
資産除去債務	23,083	23,254
負ののれん	180	159
その他	63,894	64,601
固定負債合計	587,095	579,701
負債合計	925,080	906,220
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,675	22,810
資本剰余金	15,414	15,548
利益剰余金	291,221	299,075
自己株式	△14	△14
株主資本合計	329,296	337,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	173	410
為替換算調整勘定	554	△560
退職給付に係る調整累計額	△477	△465
その他の包括利益累計額合計	250	△615
新株予約権	724	524
非支配株主持分	23,217	23,473
純資産合計	353,487	360,801
負債純資産合計	1,278,567	1,267,021

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
売上高	250,080	428,736
売上原価	183,348	306,116
売上総利益	66,732	122,620
販売費及び一般管理費	52,229	101,488
営業利益	14,503	21,132
営業外収益		
受取利息及び配当金	487	180
負ののれん償却額	22	22
持分法による投資利益	2,513	120
その他	1,353	1,044
営業外収益合計	4,375	1,366
営業外費用		
支払利息	823	1,379
為替差損	-	575
債権流動化費用	79	51
その他	59	44
営業外費用合計	961	2,049
経常利益	17,917	20,449
特別利益		
固定資産売却益	0	14
店舗閉鎖損失引当金戻入額	-	268
その他	0	1
特別利益合計	0	283
特別損失		
固定資産除却損	6	847
店舗閉鎖損失	32	70
災害による損失	232	161
その他	9	34
特別損失合計	279	1,112
税金等調整前四半期純利益	17,638	19,620
法人税、住民税及び事業税	5,352	6,317
法人税等調整額	2	546
法人税等合計	5,354	6,863
四半期純利益	12,284	12,757
非支配株主に帰属する四半期純利益	638	153
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,646	12,604

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	12,284	12,757
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55	246
為替換算調整勘定	1,300	△1,011
退職給付に係る調整額	-	12
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△9
その他の包括利益合計	1,353	△762
四半期包括利益	13,637	11,995
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,999	11,739
非支配株主に係る四半期包括利益	638	256

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	17,638	19,620
減価償却費	4,448	7,094
負ののれん償却額	△22	△22
引当金の増減額(△は減少)	94	△1,222
受取利息及び受取配当金	△487	△180
支払利息	823	1,379
持分法による投資損益(△は益)	△2,513	△120
有形固定資産除売却損益(△は益)	6	866
売上債権の増減額(△は増加)	407	△4,161
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,145	6,375
仕入債務の増減額(△は減少)	4,521	△10,195
割賦売掛金の増減額(△は増加)	-	△5,928
未払金の増減額(△は減少)	467	2,713
その他	△583	1,487
小計	23,654	17,706
利息及び配当金の受取額	430	48
利息の支払額	△1,014	△977
災害損失の支払額	△158	△85
法人税等の支払額	△8,309	△5,825
法人税等の還付額	-	12
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,603	10,879
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,450	△8,592
有形固定資産の売却による収入	0	119
無形固定資産の取得による支出	△490	△1,111
敷金及び保証金の差入による支出	△1,212	△493
敷金及び保証金の回収による収入	235	221
出店仮勘定の差入による支出	△411	△116
貸付金の回収による収入	636	14
その他	69	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,623	△9,909
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	65,000	-
長期借入金の返済による支出	△2,970	△10,012
社債の償還による支出	△1,108	△1,108
債権流動化の返済による支出	△1,878	△1,861
株式の発行による収入	-	69
配当金の支払額	△4,271	△4,750
非支配株主への配当金の支払額	△808	-
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△4,322	-
その他	△52	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	49,591	△17,682
現金及び現金同等物に係る換算差額	428	△522
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	49,999	△17,234
現金及び現金同等物の期首残高	75,883	185,136
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	125,882	167,902

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ディス カウント ストア	総合 スーパー	テナント 賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	245,047	-	4,731	249,778	302	250,080	-	250,080
セグメント間の内部 売上高又は振替高	723	-	476	1,199	-	1,199	△1,199	-
計	245,770	-	5,207	250,977	302	251,279	△1,199	250,080
セグメント利益又は損 失(△)	14,188	-	779	14,967	△459	14,508	△5	14,503

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社(持株会社)運営に係る費用等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△5百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ディス カウント ストア	総合 スーパー	テナント 賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	281,599	128,153	15,172	424,924	3,812	428,736	-	428,736
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,404	992	1,024	3,420	1,566	4,986	△4,986	-
計	283,003	129,145	16,196	428,344	5,378	433,722	△4,986	428,736
セグメント利益	14,963	2,864	3,159	20,986	12	20,998	134	21,132

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、当社(持株会社)運営に係る費用、カード事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額134百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2019年1月4日にユニー株式会社の株式を追加取得し、当社の完全子会社としました。これに伴い前第3四半期連結会計期間より、事業セグメントの追加及び区分方法の見直しを行い、従来の2つの報告セグメント「リテール事業」及び「テナント賃貸事業」から、3つの報告セグメント「ディスカウントストア事業」、「総合スーパー事業」及び「テナント賃貸事業」へ変更しております。

また、主な事業会社の変動として、従来「テナント賃貸事業」に含めていた日本アセットマーケティング㈱及び「その他事業」に含めていた㈱リアリットはディスカウントストア事業の付帯事業であることを考慮し、「ディスカウントストア事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。